| 豊田工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和02年度 (2020年度) | 授業科目 | 国際技術表現 |
|---|---|---|---|---|

## 科目基礎情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目番号 | 94037 | 科目区分 | 専門 / 選択 |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 |
| 開設学科 | 建設工学専攻A | 対象学年 | 専1 |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 |
| 教科書/教材 | 適宜プリントを配布する。 | | |
| 担当教員 | 松本 嘉孝 | | |

## 到達目標

(ア)数式、グラフ、表を英語で説明できる。
(イ)実験方法と実験結果を英語で説明できる。
(ウ)英語のネイティブスピーカーの発表を、おおよそ理解できる。
(エ)英語の講演を聴いて英語で質問することができる。
(オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。
(カ)自分の発表内容への質問に英語で答えることができる。

## ルーブリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|---|---|---|---|
| 到達目標（ア） | 数式、グラフ、表を英語で正確に説明できる。 | 数式、グラフ、表を英語で説明できる。 | 数式、グラフ、表を英語で説明できない。 |
| 到達目標（イ） | 実験方法と実験結果を英語で正確に説明できる。 | 実験方法と実験結果を英語で説明できる。 | 実験方法と実験結果を英語で説明できない。 |
| 到達目標（ウ） | 英語のネイティブスピーカーの発表を、理解できる。 | 英語のネイティブスピーカーの発表を、おおよそ理解できる。 | 英語のネイティブスピーカーの発表を、理解できない。 |
| 到達目標（エ） | 英語の講演を聴いて英語で質問し，ディスカッションすることができる。 | 英語の講演を聴いて英語で質問することができる。 | 英語の講演を聴いて英語で質問することができない。 |
| 到達目標（オ） | 英語で自分の研究の概要が正確かつスムーズに説明できる。 | 英語で自分の研究の概要が説明できる。 | 英語で自分の研究の概要が説明できない。 |
| 到達目標（カ） | 自分の発表内容への質問に英語で正確かつスムーズに答えることができる。 | 自分の発表内容への質問に英語で答えることができる。 | 自分の発表内容への質問に英語で答えることができない。 |

## 学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 D2 語文献などの読解力と基本的な英語コミュニケーション能力を修得する。
JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
本校教育目標 ④ コミュニケーション能力

## 教育方法等

| | |
|---|---|
| 概要 | どのように素晴らしい研究成果をあげても、発信しなければ多くの人々に学術的・技術的な価値を伝えることはできない。また、発信なくしては、その成果は社会に認められず、利用される機会も乏しくなる。　これからのエンジニアには、国内のみならず世界に向けて、自らの研究成果、あるいは新技術などを発表する能力が要求される。本授業をとおして、国際会議や学会での英語による研究発表と質疑応答を、流暢ではなくとも、ひととおり行える英語力を養成する。 |
| 授業の進め方・方法 | 本授業では、専門分野での英語によるコミュニケーション能力を養成することにある。そのため，各自が英語で発言する機会を多く設けると共に，各自の研究内容を英語で発表し，お互いに質問する授業内容とする。 |
| 注意点 | 課題には英語による発表、質疑応答の評価が含まれる。英語での説明、質問、発表等は、聴者にとって理解可能な程度であり、流暢である必要はない。 |

## 選択必修の種別・旧カリ科目名

## 授業計画

| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|---|---|---|---|---|
| 前期 | 1stQ | 1週 | 物体の描写：形、色、材質、位置、動き、方向等の英語表現演習<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。 | (ア)数式、グラフ、表を英語で説明できる。 |
| | | 2週 | 数量表現１：数学記号と数式、グラフの説明、表の説明の英語表現演習<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。<br>(自学自習内容)英語プレゼンテーションの準備。 | (ア)数式、グラフ、表を英語で説明できる。 |
| | | 3週 | 数量表現１：数学記号と数式、グラフの説明、表の説明の英語表現演習<br>(自学自習内容)英語プレゼンテーションの準備。 | (ア)数式、グラフ、表を英語で説明できる。 |
| | | 4週 | 数量表現２：実験の説明、結果や討論での英語表現演習<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。 | (イ)実験方法と実験結果を英語で説明できる。 |
| | | 5週 | 数量表現２：実験の説明、結果や討論での英語表現演習<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。 | (イ)実験方法と実験結果を英語で説明できる。 |
| | | 6週 | 数量表現２：実験の説明、結果や討論での英語表現演習<br>(自学自習内容)英語プレゼンテーションの準備。 | (イ)実験方法と実験結果を英語で説明できる。<br>(オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |
| | | 7週 | 英語口頭発表の組立てとスライドの作成<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。 | (オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |
| | | 8週 | 英語口頭発表の組立てとスライドの作成<br>(自学自習内容)英語プレゼンテーションの準備。 | (オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 2ndQ | 9週 | 英語口頭発表の内容１：導入部の表現、本論での導入表現<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。 | (オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |
| | | 10週 | 英語口頭発表の内容１：導入部の表現、本論での導入表現<br>(自学自習内容)英語プレゼンテーションの準備。 | (オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |
| | | 11週 | 英語口頭発表の内容２：説明、叙述に用いられる英語表現、図表の説明、論理展開の英語表現<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。 | (ア)数式、グラフ、表を英語で説明できる。<br>(イ)実験方法と実験結果を英語で説明できる。<br>(オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |
| | | 12週 | 英語口頭発表の内容２：説明、叙述に用いられる英語表現、図表の説明、論理展開の英語表現<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。 | (ア)数式、グラフ、表を英語で説明できる。<br>(イ)実験方法と実験結果を英語で説明できる。<br>(オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |
| | | 13週 | 英語口頭発表の内容２：説明、叙述に用いられる英語表現、図表の説明、論理展開の英語表現<br>(自学自習内容)授業後に必ず〝復習し，学習内容の理解を深めること。 | (ア)数式、グラフ、表を英語で説明できる。<br>(イ)実験方法と実験結果を英語で説明できる。<br>(オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |
| | | 14週 | 英語口頭発表の内容２：説明、叙述に用いられる英語表現、図表の説明、論理展開の英語表現<br>(自学自習内容)英語プレゼンテーションの準備。 | (ア)数式、グラフ、表を英語で説明できる。<br>(イ)実験方法と実験結果を英語で説明できる。<br>(オ)英語で自分の研究の概要が説明できる。 |
| | | 15週 | 英語口頭発表での質疑応答：質問の仕方と表現、答え方<br>(自学自習内容)英語プレゼンテーションの準備。 | (ウ)英語のネイティブスピーカーの発表を、おおよそ理解できる。<br>(エ)英語の講演を聴いて英語で質問することができる。<br>(カ)自分の発表内容への質問に英語で答えることができる。 |
| | | 16週 | | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|---|---|---|---|---|---|

評価割合

| | 定期試験 | 最終発表 | 小テスト | 中間発表 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価割合 | 30 | 30 | 20 | 20 | 100 |
| 専門的能力 | 30 | 30 | 20 | 20 | 100 |